

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 健福-40 成人健康診査事業 <input type="checkbox"/> 支援部門				タイムスコード及び個別事業名		
					108	成人健康診査事業	
主管課	市民健康課	関連課	保険年金課		109	成人健康診査事業	
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	市民の疾病予防と健康の維持。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	5,590千円	33,584千円	指標と評価 指標 キット健診・肝炎検診・ 歯周疾患検診の受診者数 評価 △ ◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	(国・県)	1,625千円	2,636千円				
	(負担金等)	0千円	0千円				
	(一般財源)	3,965千円	30,948千円				
	人員配置数	0.5人	0.5人				
	人件費	4,638千円	4,683千円				
	協働の パートナー	鎌倉市医師会 鎌倉市歯科医師会 検診機関	鎌倉市医師会 鎌倉市歯科医師会 検診機関				
事務事業 運営経費	総事業費	10,228千円	38,267千円	20年度	-		
	市民1人当 りの経費	58円	217円	21年度	-	1,574人	
	対象者1人 当りの経費	-	-	22年度	-		
ベンチマ ーク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度	-		
				最終年度 (年度)	-		
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・(キット健診)健診受診者のうち、約半数の人に何らかの異常が見られる。異常が見られた者へは、医療機関の受診をすすめ、その後の生活習慣改善支援を行う必要がある。 ・(歯周疾患検診)若年層へ歯周疾患検診の重要性を周知する必要がある。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・(キット健診)「総合判定結果通知」のアドバイスを充実させるとともに、同封物で市の生活習慣改善支援事業を周知した。 ・(歯周疾患検診)広報、衛生時報等で、若年層へ歯周疾患健診の重要性を周知した。					
	未解決の 課題・問題 点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・(キット健診)の受診率がなかなかあがらない ・(歯周疾患検診)の受診率は低迷しており、歯科医師会との協議の中でも、もう少し周知啓発に力を入れていきたい—という点では合意に達しているが、21年度はこれまでと同様、受診券シールに市で作成したちらしを同封すること、総合判定結果通知にアドバイス文を掲載すること以外、新しい取組みは実施できなかった。					
	今後の方 針(対応・ 改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・(キット健診)21年度に引き続き、母子保健事業や予防接種会場において周知を行う。フォロー体制の強化を図る。 ・(歯周疾患検診)21年度に引き続き、受診券シールにちらしを同封するとともに、は各歯周疾患検診実施医療機関ポスター等を掲示して、受診しやすい環境づくりを検討する。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性		
B	有	特に若年層を中心とした歯周疾患検診の受診率をあげるために、その重要性を周知する必要がある。		B	有	キット健診を受けるだけにとどまらないように、その後のフォローを充実させることが必要である。	
課長名	市民健康課長 相川 誉夫			部名・部長名	健康福祉部長 石井 和子		